

# I 高齢者入所施設調査

## 1 奈良市所在 介護老人福祉施設

コロナ禍の中で往診に来て頂ける機会が減りました。  
受診しても時間がかかり、利用者の負担が増えてきています。  
認知症のある方も多いので、考慮してもらえればと思います。

## 2 奈良市所在 介護老人福祉施設

- ・定期健康診断の際(一年に1回~2回)歯科口腔健診も義務化されることを希望します。
- ・認定調査(要介護度判定のための)の調査項目には、口腔ケアが自立しているか否かの項目しかないが、「義歯を使用して咀嚼が十分可能か?」「うがいができるか?」「かかりつけ歯科医の健診を年に2回行っているか?」などの調査がほしいと思います。
- ・OHATの使用をすすめて下さい。研修を行うなど
- ・口腔ケアやリハビリが大切であることは、世間に広がりつつありますが、具体的な手だてがなく残念に思います。

やはり健診の義務化や認定調査等に、具体的な施策を積極的に行って下さることを、切に希望します。

## 3 奈良市所在 介護老人福祉施設

加算による色分けは必要だと思います。  
ただし、加算となるといつも大量の記録を義務づけられその手間と点数とで考えると、やらない方がマシという加算が多く、簡素化に向けた動きも同様に必要かと思います。  
口腔ケアによる心身の安定、医療費の削減は結果として出ていることです。  
より充実させるためにも段階のある現場に沿った加算をお願いします。

## 4 奈良市所在 介護老人福祉施設

教育(研修)の機会があること、研修に参加させることができる職場の人員体制の整備、人員体制を整備できる資金の援助、が、必要だと思います。

## 5 奈良市所在 介護老人福祉施設

当施設では、施設長が歯科医師であり、その他にも歯科嘱託医がおります。  
歯科衛生士も非常勤ですが2名おります。  
治療が必要な場合の往診だけでなく、普段から歯科の専門職が介護現場で勤務することにより、介護職員との連携が取りやすいです。  
歯科医療従事者が介護の現場でご利用者のADLを日頃から見て把握することで、介護職員への口腔衛生管理に関する指導をより適切に行うことができます。  
歯科医療従事者への介護、医療知識の修得や現場実習を充実させていただくことで、他職種連携における歯科口腔保健の重要性への理解が深まると考えます。

## 6 奈良市所在 介護老人福祉施設

- ・人材の確保
- ・取り組む時間の確保
- ・口腔衛生に関する意識の向上・啓発

## 7 天理市所在 介護老人福祉施設

フットワーク軽く往診してくれる歯科医が増えること

## 8 天理市所在 介護老人福祉施設

- ・1年に1回程度の歯科定期検診を実施し状況把握、早期治療、予防につなげる
- ・介護認定調査項目に「口腔の状態」を新設する

これにより、歯科保健医療関係者、行政、介護福祉の関係者、家族との情報共有が可能となり歯科医の介入もスムーズになるのではないかと

## 9 五條市所在 介護老人福祉施設

義歯の調整が上手くいかない場合が多い。

特に専門的に高齢者の義歯の調整等について(認知症の方の対応も含め)本等があればご紹介頂くと助かります。

## 10 五條市所在 介護老人福祉施設

施設衛生士が地域へ出向き、歯科治療や、口腔ケアが必要な高齢者を見つけ、治療やケアを受けられるようにしたい。

医院の衛生士は、訪問に行けるが、依頼を受けて行くが、依頼することもできず、どうしたらいいかわからず辛抱している方や、治療を諦める方を救える仕組みが必要。

施設衛生士が地域へ訪問できるようにして下さい。

## 11 五條市所在 介護老人福祉施設

当施設においては特に問題はないが、地域で生活している高齢者、また高齢者の中での単身者の歯科・口腔へのアプローチが出来ていないと感じる理由として、本人が歯科医療を受診せず放置されている現状が伺える。

とくに過疎の進んだ地域はアプローチが困難ではないでしょうか？

## 12 生駒市所在 介護老人福祉施設

高齢者への口腔衛生はとても重要だと思います。

でも日頃できることは限られており、歯磨き用具の充実、歯磨きのフォローぐらいです。

歯磨きのフォローは、職員の意識・スキルに左右され、きちんとできているのか疑問に感じることもあります。

R6 年度からは歯科医による研修を考えています。

必要な研修であることは理解していますが、新しい取り組みを外部の医療者を行うことについては、

とても負担に感じています。

歯科医が介護保険で必要とされる研修について、自ら学び、自ら計画を立て、率先して取り組んでもらえるよう取り計らって欲しいです。

また嚥下訓練で施設に赴ける ST などを一覧で紹介したり、費用の補助をしたりして欲しいです。

### 13 生駒市所在 介護老人福祉施設

行政からの定期的な歯科検診を全員に行うことができればよいと思います。

### 14 生駒市所在 介護老人福祉施設

- ・病院に行かなくても嚥下評価をしてもらえる機会を年 1 回作ってもらいたい。
- ・言語聴覚士の方の定期巡回事業のようなもの  
(リハビリ方法や食事形態、食事に使うスプーンなどに関する意見をもらったり研修を受ける機会)
- ・うがいが難しい方に対する口腔ケア方法の指導方法  
(認知機能の低下によりうがいを飲んでしまう方や重度の認知症により口を開くのを拒否したり、うがい自体を拒否したり、できない状況の方が多数います)  
一般歯科ではなかなか賄いきれない部分です

→ こういった内容を施設だけでは人材確保や機材の関係とそのコスト面を考えるとできません。年に 1 回でもこういった機会を作ってもらえると口腔保健の充実につながるとともに誤嚥性肺炎で入院する方も減るのではないのでしょうか。

### 15 宇陀市所在 介護老人福祉施設

施設では、当事者の口腔内に問題があっても体調や投薬により治療困難になり、現状維持のまま口腔ケアをするケースが多くあります。

そこで、当事者が、かかりつけ医を持ち、施設に入所するまでに、将来をも見込しての歯科治療を受けていただければ「介護されやすい口、介護しやすい口」を作ることができると思います。

また、かかりつけ医から当事者の口腔状況や注意すべき点などを、介護者に伝えていただくことで、より口腔ケアがしやすくなると思います。

### 16 宇陀市所在 介護老人福祉施設

- ・往診可能医院や、口腔関係の研修を行っていただける講師の一覧を施設に配っていただければありがたいです。
- ・口腔衛生と認知症、その他疾病との関連を周知し、口腔ケアの重要性を理解してもらえる機会を増やす。(zoom 研修、施設訪問など)

### 17 田原本町所在 介護老人福祉施設

県で歯科口腔に関する職員の研修を今以上に実施してほしい。

### 18 高取町所在 介護老人福祉施設

施設へ出向いて頂ける歯科医・歯科衛生士をリストアップして頂き、定期的に来て頂ける環境があれ

ばもっと進んでいくと思われる。

## 19 広陵町所在 介護老人福祉施設

施設での口腔ケアは歯科医や歯科衛生士などの専門職の介入が無ければ一定の口腔環境を保つことは難しい。

特に中・重度高齢者においては十分な口腔ケアができないことも少なくない。

ケアの手技、必要な物品の整備や使い方の指導等を介護職にして頂く事で職員の意識やケアの質も上がっていると思う。

ただし、金銭的な理由で専門職によるケアを受けられない方もいらっしゃるの最低一年に一回程度無料で検診できる制度も必要かと思う。

## 20 東吉野村所在 介護老人福祉施設

・施設では認知症の方で口腔ケア時、意思疎通困難、むせがあり、困難な時がある。食事摂取時、とろみを付けたり、一口大、刻み等工夫しているが、問題となっている。

・県市町村から職員に対し、利用者ごとの口腔ケア方法、助言の案内は送られてくるが、コロナの影響や、職員不足(研修で抜けると代替りの者が負担となり、利用者に影響がある)があり、出席できない。研修を短時間オンライン又は、各地域毎に無料で施設に来ていただき、実施してほしい。

## 21 奈良市所在 介護老人保健施設

現行制度で一定の歯科口腔保健を保てる仕組みであると感じるが、十分にケアを提供する人手、時間がない。また、研修を実施して理解を深める時間もない。

## 22 奈良市所在 介護老人保健施設

利用者様にかかわる多職種の職員が、摂食・嚥下機能の向上に対してアプローチを行うことが重要であると考えます。

当施設には歯科衛生士が常駐していますので、入所時の口腔アセスメントから食事の様子に注意して口腔内と照らし合わせて、その後他職種間で情報共有の上問題解決へと策を講じています。

また、利用者様の口腔ケアを行う職員は、常に口腔内の観察を行っています。

経口摂取する方も、経管栄養の方も口腔ケアの重要性を理解したうえで行えるよう心がけています。

歯科衛生士の常駐していない施設では、定期的な歯科医師か歯科衛生士による歯科検診は必要不可欠なものだと考えます。

往診による歯科診療が可能な施設でも家人や利用者様からの希望がないと診ることができないし、金銭面の負担もかかります。そこで、定期的な歯科検診を行政よりの義務としていただけたらもっと早く対応が可能になるのではないのでしょうか？

また、その後の治療も、若い方の治療と違い利用者様の ADL や食事状態を考慮した治療であるべきだと考えます。

## 23 大和高田市所在 介護老人保健施設

歯科とのかかわりを持っておられる方は、義歯の調整や歯の痛みなどのトラブルがあり受診となりその後、口腔ケアを行ってもらっている。

施設職員が口腔ケア時、出血などあっても歯科への受診につなげる事はない。  
口腔内のトラブルで食事が食べられないなどの状況になってご家族と相談し受診する。  
利用者さんは認知症などもあり、また口腔ケアへの意識が低く、ブラッシングなど痛みのある事にも拒否される方も多い。

ねる前に義歯を外そうとしても強く拒否され全く外せない。

職員の学習など行っているが対応に困っている。

## 24 天理市所在 介護老人保健施設

歯科医師会や衛生士会、行政の方が各地域で研修等を開催していただければ参加しやすいかなと思います。

丸投げですみません。案内をいただければご家族にも連絡を入れます。よろしくお願いいたします。

## 25 桜井市所在 介護老人保健施設

施設に ST が居れば嚥下訓練なども出来るが、現状、嚥下に問題があり飲食不可となった場合、施設入所が続けることが不可となります。療養や介護医療院をすすめるしかない状態です。

食後に歯磨き、含嗽していただいているが、磨き残しなどチェックはできていません。

定期的に希望者には歯科医、歯科衛生士さんの介入があり口腔チェックしていただいています。

お金が発生するため希望者のみでしています。

全員が介入していただければ口腔トラブルも減ると思います。

## 26 葛城市所在 介護老人保健施設

口腔トラブルに気づける人が近くにおられないことがよくあります。

家族であっても、口腔の状態をわかっている方は少なくいろいろなトラブルを抱えた状態で食事摂取されていることも多く、低栄養になっておられる方も見られます。早期に気づけるたくさんの目が必要だと思いますので歯科からの発信が重要だと考えています。(歯科衛生士)

## 27 上牧町所在 介護老人保健施設

口腔ケア実践方法を学んだ介助者が個々の状態、課題に応じて定期的に支援を行う。

# II 障害者入所施設調査

## 1 奈良市所在

当園は福祉型障害児入所施設です。効果的な取り組みがどのようなことか思いつかない為、現状を報告いたします。

- ・自分で歯磨きが出来る児童は磨き残しが多く、介助の必要な児童の中には口を開くのを嫌がる子や口をゆすぐ事ができない子がいます。
- ・支援者も工夫をしながら、対応していますが、歯や口腔内を清潔に保つ事が難しい状態です。
- ・学校の歯科検診で指摘された児童は嘱託医の歯科医院に通院しています。

・治療やクリーニングを受ける際に支援者が付き添うので、その時に歯磨き指導を受け、学園で実行するように努力しています。

・治療することが理解できない児童は診療台で暴れて、支援者 3 人で頭・体幹・四肢を抑えています。診療台が狭く、暴れ方が激しいと抑え切れず、危険に感じる場合があります。

治療してくださるお医者さまには大変、感謝をしております。今後の取り組みに役立てていただければ幸いです。

## 2 奈良市所在

重症心身障害児(者)の歯科治療ができる歯科医院を増やしていく必要あり

## 3 奈良市所在

定期的に歯・口腔ケアを受けられるシステムを作ってほしい。

最低 1 回/w はケアを受けてもらいたいが、人員不足でできない現状であり、もっと必要性を理解してもらえる勉強会も開催してほしい。

## 4 奈良市所在

障がい者専門の歯科医が増えてほしい

## 5 奈良市所在

必要性を感じた時にすぐ受診できるよう奈良県身障歯科の受診枠を増やして頂きたいです。

## 6 奈良市所在

奈良県心身障害者歯科衛生診療所だけでなく、障がいのある方(特に自閉症の方や強度行動障害のある方)を受け入れて下さる様な歯科が増え、障害者の方々が適切な医療を受けられる様な社会になる事を切に願います。

その為には、障害への理解が深まる様な研修や啓発、歯科医院に対しても設備投資への補助や加算等の具体的な支援を行政がして頂き障害者(特に知的障害が重度の方)医療の発展を進めて頂きたいと思います。

## 7 奈良市所在

・行動障害のある方が気軽に通える歯科の情報が少なく、又、予約もなかなか取れない為、受診につながらない。(市町村単位での情報提供がほしい)

・支援員が口腔ケアを行うが、各スタッフによって経験等で利用者にきちんと口腔ケア、ブラッシングができない、口を開いてくれない方や、指をかんでしまうような方々に対しても行える口腔ケアの方法等あれば研修等で指導、教授していただきたい。

## 8 香芝市所在

今年度から、歯科衛生士を採用しました。

国の方針でもうたわれている「口腔ケア」を重視する為には、歯科衛生士が必要だと感じています。

しっかり採用できる報酬単価があればいいと思っています。

現在、定期的にご利用者の歯をチェックすることで口腔内がすごくきれいになっています。

今まで以上に歯科医院に行くタイミングもはやくなり、職員の口腔ケアに対する意識も向上し、職員自身も自分の口腔ケア敏感になっています。

## 9 葛城市所在

往診診療や職員への指導を積極的に行って欲しい。

## 10 高取町所在

口腔ケアについては、不十分さを認識している。外部言語聴覚士による評価・指導を取り入れているが、月4回1回1時間という中では十分とは思わない。ただ、外部委託費についてこれ以上法人負担も難しい。高齢化による嚥下機能の低下により、誤嚥性肺炎で入院する利用者が増えている。

職員への研修はコロナ禍でなかなか難しい状況ではあるが適切な支援を利用者に届けていきたいと考えている。

## 11 大淀町所在

歯科に限らず、重度の知的障害者に対する医療についてはまだまだその受け入れにおいて不十分であり、ご家族の方や支援者は不安を抱えています。

現在は心身障害者歯科センターで対応せざるを得ない障害者も地域の歯科で治療が受けられるような体制整備が必要であると感じます。

具体的には心身障害者歯科センターにあるような設備を備える事を義務化するとか、その為の補助金を予算化するなど歯科口腔保健におけるインクルージョンな医療体制の構築をお願いしたい。

## 12 五條市所在

訪問診療を受けるまでは奈良県心身障害者歯科へ行っていました。距離や人員の問題もあり行ける人数が少なく歯は大切と思いながら、なかなか手をうつことが出来ていませんでした。

訪問診療を開始したことで、一人一人の歯の状態は良くなってきました。

## 13 十津川村所在

現在、歯科検診に行きにくい状態です。(時間的、地域的、職員不足等)歯科検診車による検診をして頂きたいです。歯科衛生士さんによる指導も受けられる様に人材派遣して頂きたいです。